

2015年1月5日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証・名証第一部

年賀式 永井浩ニグループCEO発言要旨

野村證券は1925(大正14)年に、大阪野村銀行から分離し、わずか84名で発足しました。それから90年、今では従業員28,000名、顧客預かり資産は100兆円を超え、国内最大手の証券会社に成長しました。

我が国の企業のうち、創業50周年を迎えることができるのは全体の4割だそうです。しかし100周年となると1.8%、つまり100社のうち2社に満たないということになります。当社が堂々たる姿で100周年を迎えることができるか、ここからの10年間がまさに正念場です。

創立90周年となる2016年3月期までにEPS50円を達成するという目標は、2014年3月期に前倒しで達成することができました。そして昨年、さらなる高みを目指し、2020年までにEPS100円を安定的に確保する体制を構築するため、新たなスローガン「Vision C&C」を掲げました。Vision C&Cには、「環境の変化を絶好のチャンスとして捉え、我々自身も果敢に変革(チェンジ)していく」との意を込めましたが、今年は、この言葉がより重要な意味を持つと考えます。今年は日本再構築の真価が問われる一年になりますし、我々はアジアに立脚したグローバル金融サービス・グループとしての地位を確固たるものとすべく、「変革と挑戦」を続けていかなければなりません。

今年は是非、現場発、スピード優先を徹底して実践していただきたいと思います。常にあらゆる状況を想定し、環境が変化しても怯むことなく、機敏に対応していただきたいということです。社会や経済の枠組みが大きく変化する中、100周年に向けたスタートダッシュの正念場を一緒に乗り切ってください。

以上